

# 農林水産商工常任委員会資料

(平成22年7月21日)

## 項目

- 1 まちなかスローライフ商業活性化事業の実施状況について  
【経済通商総室(経営支援室)】……………1
- 2 FOOD・TAIPEI 2010 出展の結果について  
【経済通商総室(通商物流室)】……………2
- 3 鳥取県・江原道輸出企業展示商談会の結果について  
【経済通商総室(通商物流室)】……………3
- 4 境港・東海・ウラジオストク定期貨客船航路の運航状況等について  
【経済通商総室(通商物流室)】……………4
- 5 産業を支える中堅リーダー育成支援事業に係る「マネジメント及びマーケティング研修」の実施について【雇用人材総室(人材育成確保室)】…5
- 6 株式会社鶴見製作所の流体研究棟設置に伴う協定書の調印について  
【産業振興総室(企業立地推進室)】……6
- 7 「とっとり農商工こらぼ研究コンソーシアム」設立について  
【産業振興総室(新事業開拓室)】……………7
- 8 中小企業の環境にやさしい取組推進事業の状況について  
【産業振興総室(次世代環境産業室)】…8
- 9 とっとりバイオフィロンティアの指定管理者制度導入に向けた検討状況について  
【産業振興総室(産学金官連携室)】……9
- 10 鳥取県東京アンテナショップ「食のみやこ鳥取プラザ」の状況について  
【市場開拓局市場開拓課】……………10

商 工 労 働 部

# まちなかスローライフ商業活性化事業の実施状況について

平成22年7月21日  
 経済通商総室  
 経営支援室

## 1 普及啓発セミナーの開催

商業者グループ等が行う「まちなか資源」を活用した時間消費型商品・サービスの開発・提供による来街者ニーズへの対応や個店・商業エリアの魅力向上の可能性について関心を高めるため啓発セミナーを開催しました。

- ① テーマ 「地域（まち）のオアシスづくりを目指して」～トットリだからできること～
- ② 内容
  - ア) 講演「まちなかスローライフのすすめ  
～「集う・楽しむ・触れ合う」店づくりまちづくり～  
(木暮経営企画研究所 木暮衣里氏)
  - イ) 事例発表「鳥取きもの倶楽部の活動」  
(尾崎呉服店 尾崎佐智子氏)
  - ウ) 県の施策説明

### ③ 開催日・会場

開催日	会場	参加人数
7月5日(月) 14時～16時	ふれあい会館・講義室	74人

### ④ 主な意見

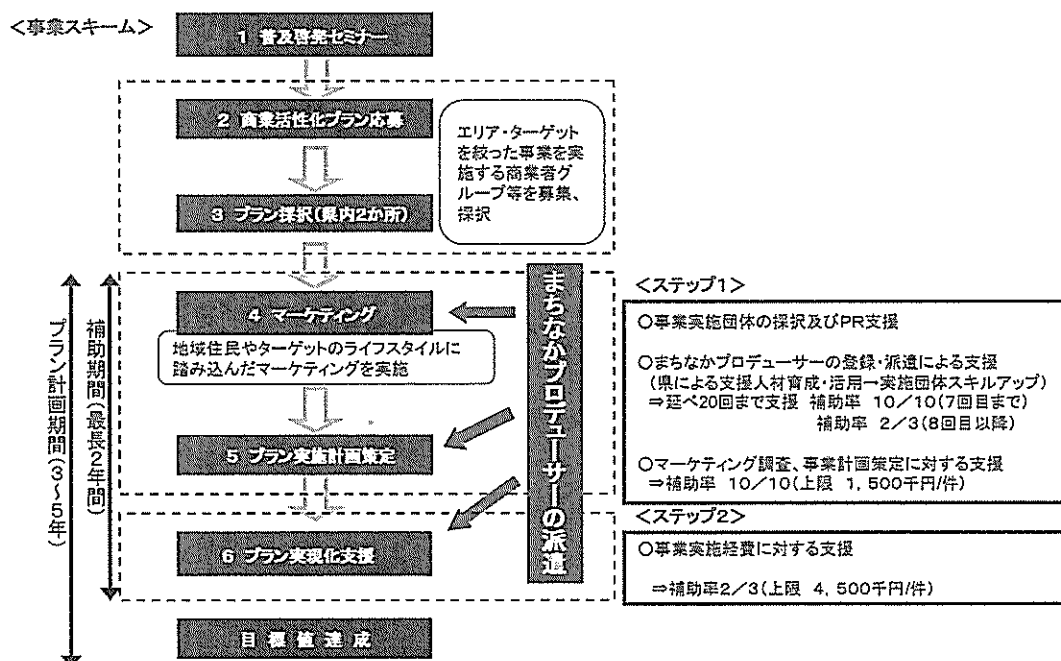
- ・木暮氏の講演について、時代の流れへの対応をタイムリーにすすめることの必要性を感じた。
- ・鳥取きもの倶楽部の事例紹介について、新しい実践的取組で説得力があった。
- ・行政と協力してまちの活性化を目指したい。

## 2 まちなかスローライフ商業活性化プランの募集

来街者のニーズに沿った商品・サービスの開発・提供（空間づくりを含む。）などを通じて個店あるいは商業エリアの魅力向上と来街者の増大による事業機会の拡大を目指す商業者等から「商業活性化プラン」を募集し、認定したプランに対して、重点支援を行います。

◇募集期間（予定）： 8月中旬～10月中旬（2カ月間） ◇採択件数： 2件

※採択プランに対しては、地元市町村と連携して支援予定



(参考) これまでの取組

〔元気な商店創出事業〕(H18～21)

消費者モニター調査(H18)、個店の魅力向上勉強会(H19)や個店連携勉強会(H20)などを通して、個店や商業エリアの魅力向上の必要性を意識啓発。

(実施箇所 鳥取市、倉吉市、米子市)

フード タイペイ  
FOOD TAIPEI 2010 出展の結果について

平成22年7月21日  
経済通商総室  
通商物流室

6月23日(水)～26日(土)、台湾・台北市にて開催された国際食品見本市「FOOD TAIPEI 2010」に県内企業5社が出展し、台湾食品市場における販路開拓の取組を行いました。

なお、この取組は、県予算による海外での販路開拓を目的とした事業で、財団法人鳥取県産業振興機構が直接の実施主体となって行ったものです。

### 1. FOOD TAIPEI 2010 概要

- (1) 日時 2010年6月23日(水)～26日(土) 午前9時～午後5時
- (2) 会場 台北ワールド・トレード・センター (TWTC) 南港展示ホール
- (3) 主催者 中華民国対外貿易発展協会 (TAITRA)

### 2. 出展ブース概要 (出展企業数5社)

企業名		主な出展商品	備考
(有)一善や	鳥取市	菓子 (ロールケーキ、パウンドケーキほか)	新規出展
(株)エミネット	米子市	フィッシュコラーゲン「天使のララ」	
(株)かにじまん	境港市	かにパウダー加工品 (七味、ソフトクリーム) ほか	
(株)ゼンヤクノー	鳥取市	健康茶 (黒豆茶、はと麦茶ほか)	
(有)長田茶店	米子市	「有機栽培大山みどり」、「有機栽培大山の紅茶」	新規出展

### 3. 商談件数

159件 (うち、成約見込7件)

### 4. 出展の成果及び今後の予定

- ・台湾コーディネーター (鳥取県産業振興機構が委託) との連携のもと、有望バイヤーへの事前訪問等が功を奏し、会期中に各企業とも内容の濃い商談をすることができた。
- ・新規出展企業は今回の出展を通じて、台湾市場での自社商品の販売可能性を探り、信頼できるパートナーを見つけて物流ルート構築を図るなど、台湾市場展開のきっかけを作ることができた。
- ・今後もジェットロ鳥取貿易情報センターや台湾コーディネーターと連携しながら、引き続き成約に向けたフォローアップを実施。

### 5. 出展企業の主な声

- ・既にある現地代理店にもアテンドして頂いたおかげで商談がスムーズに進み、新規販売チャネル開拓の可能性が出てきた。
- ・価格面で折り合いがつけば、大変おもしろいビジネスができそう。
- ・自社商品と同じような商品が台湾にたくさんあることが分かった。また、食習慣や味覚の違いがあるなど、情報収集がたくさんできて良かった。

### 6. 参考 (鳥取県ブースの様子)



# 鳥取県・江原道輸出企業展示商談会の結果について

## ～ 環日本海定期貨客船航路・就航1周年記念関連事業 ～

平成22年7月21日  
経済通商総室  
通商物流室

### 1 鳥取県・江原道輸出企業展示商談会

(1) 日 時：6月28日(月) 午後2時から午後7時

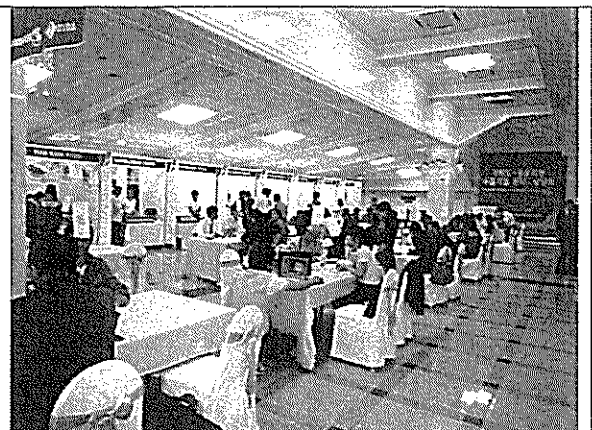
(2) 場 所：東海望祥グランドホテル5階コンベンションホール（韓国江原道東海市）

(3) 内 容

- ・韓国側33企業、日本側13企業が参加し、商談会を実施した。
- ・日本側参加企業に係る商談件数は、約50件。（日本側参加企業13社に対し、1社あたり4つずつの商談が設定されたもの。）
- ・うち、具体的取引に係る案件は、次の2つ。
  - ①県内を含む中国地方の青果会社及び大阪の商社が、江原道産野菜（パプリカ）の輸入について現地企業（五大営農組合法人）と合意。7月9日（金）に40フィートコンテナ1本の輸入が行われた。大阪方面への供給も継続的に行われる見込みで毎週同程度の輸入が行われる予定。
  - ②県内の食品企業が、本格取引の前段として国際郵便によるサンプル輸出を行うことで現地企業と合意。直ちに貨客船の利用に繋がるものでないものの、県内企業の販路開拓の面からは明るい話題。



展示商談会開会式



展示商談会

### 2 鳥取県江原道経済交流団派遣【6月27日（日）から6月30日（水）まで】

鳥取県産業振興機構が展示商談会を視察する日程を含んだ経済交流団を派遣。

〔 団長：鳥取県産業振興機構 金田理事長、参加企業：8社 〕

この派遣を通じ、両県道企業間で経済交流の可能性について活発な意見交換が交わされ、一部の企業（電子、食品）では今後の取引につながる個別の具体的な商談も行われた。

また、訪韓中には、鳥取県産業振興機構の交流パートナーである江原 TP（テクノパーク）と「先端産業分野の交流協力に関する」協定書が調印された。

## 境港・東海・ウラジオストク定期貨客船航路の運航状況等について

平成22年7月21日  
経済通商総室  
通商物流室

### 1. DBSクルーズフェリー社代表理事の来県について

- 金槿河（キム・グナ）代表理事ら幹部が7月12日に来県。同社では、6月10日付で役員が交代し新体制となったことから、その報告等を行うため知事と面談。
- DBS社から、航路の早期安定化のため新体制のもと一層努力するとの表明があり、今後も県等の支援や協力をお願いしたいとの要請があった。
- また、貨物や旅客の一層の誘致に向け、県内の貿易支援機関や山陰両県の観光関係者等との意見交換も行った。

### 2. 貨客船航路を巡る主な動き

- 就航1周年前後の期間中、官民挙げて様々な関連事業が実施された。
  - ・環日本海貨客船航路就航1周年記念セレモニー【鳥取県】 6/27(日)  
DBS社への感謝状の贈呈、JAによる乗船客への県内産すいか・メロンの試食提供
  - ・2010ミスコリア選抜大会候補者合宿の受入れ【山陰国際観光協議会】 7/9(金)  
ミスコリア候補者及びスタッフ総勢100名、県内観光地での映像を本選で上映予定
- 平井知事がウラジオストクで開催された太平洋経済会議総会（政財界要人約350名出席）において、環日本海貨客船航路などをPRし、利用を呼びかけた。また、貿易、郵便及び動植物衛生監督を担当する政府機関の沿海地方代表者などと面談し、貨客船航路を利用した貿易拡大について支援を要請した。併せて、ウラジオストク経済サービス大学において開催された「ブラッド・エキスポ2010」（極東観光見本市）に山陰国際観光推進協議会と鳥取県がブース参加し、沿海地方の旅行社35名に対し観光説明会も行った。（7/2(金)～7/4(日)）
- ロシア連邦産業貿易省の沿海地方代表が来県。知事と面談し、鳥取県と沿海地方との交易拡大に向けて今後も協力して行くことを確認。また、米子市内において「ロシアビジネスセミナー」を開催、ロシアの経済情勢等に関する講演と意見交換等が行われた。（7/8(木)～7/18(日)）
- 「GTI（UNDPによる大図們江開発計画）運輸プログラム2010～2012」にDBS航路が盛り込まれた。越境通関など課題解決に向け、今後当該多国間協力の枠組みの利用が期待される。

### 3. 航路全体の運航実績（平成21年6月29日～平成22年7月5日 韓国東海市まとめ）

#### 【旅客】

区分	境港～東海	東海～ウラジオストク	合計
運航回数（往復）	99回	52回	151回
乗客数（人）	29,115	7,036	36,151

#### <乗客数の国籍別内訳>

区分	韓国人	日本人	ロシア人	その他	合計
乗客数（人）	24,267	4,540	6,884	460	36,151
構成比（%）	67.1	12.6	19.0	1.3	100.0

#### 【貨物】

#### <貨物量の荷姿別内訳>

区分	コンテナ	車両	バルク	合計
重量ベース（ト）	1,891	4,035	3,421	9,347
構成比（%）	20.2	43.2	36.6	100.0
（コンテナ数）	272TEU	—	—	—

#### <貨物量の航路別内訳：重量（ト）ベース>

区分	東海→境港	境港→東海	東海→ウラジオ	ウラジオ→東海	ウラジオ→境港	境港→ウラジオ	合計	
重量（ト）	570	315	5,641	1,345	352	1,124	9,347	
構成比（%）	6.1	3.4	60.4	14.4	3.8	12.0	100.0	
主な取扱品目	水産品 リサイクルパレット 機械部類 建設パル	水産品 日本酒 建設資材 車両部品	果物類 建設重機 車両部品 中古車 バス	水産品 蜂蜜 加工木材 水産品	中古タイヤ 加工木材 製品	中古農機、 クルーザー 中古車 車両部品 切り花		

# 産業を支える中堅リーダー育成支援事業に係る「マネジメント及びマーケティング研修」の実施について

平成22年 7月21日  
 雇用人材総室  
 人材育成確保室

県内の雇用情勢改善のためには、県内企業の事業拡大が不可欠であるが、多くの中小企業等では、経営革新等の核となる人材育成が後回しとなっており、経営状況が厳しい折り、人材育成に係る費用を捻出できないのが実状です。

このような状況を踏まえ、県では、平成22年度新規事業として、県内中小企業等の中堅リーダーを対象とした「マネジメント及びマーケティング研修」を次のとおり開催することとしました。

## 1 事業概要（産業を支える中堅リーダー育成支援事業）

《第1ステップ》

人材育成計画の作成・・・中小企業診断士等による人材育成計画作成



《第2ステップ》→今回実施する研修

マネジメント及びマーケティング研修



《第3ステップ》

研修修了者が新商品開発、販路開拓などの専門的な研修に参加・・・県が経費補助

## 2 研修会場・日程（全5日間、研修時間10:00～16:00（全日共通））

### （1）東部会場（定員15名程度）

・とりぎん文化会館 2F第4会議室

8月3日（火）、10日（火）、17日（火）、24日（火）、9月2日（木）

### （2）西部会場（定員15名程度）

・米子市文化ホール1F展示室

8月4日（水）、12日（木）、19日（木）26日（木）

・米子コンベンションセンター 3F第4会議室

9月3日（金）

## 3 研修カリキュラム（概要）

区分	東部会場	西部会場
1日目	マーケティング発想（マーケティングの基本枠組み）、ワークショップ	
2日目	マネジメント及びマーケティングの基礎知識	マネジメントの基礎
3日目	マーケティング戦略の仕組み	経営戦略を理解する
4日目	マーケティング計画立案	自社分析、戦略の立案
5日目	新市場開発の実践と提案、ワークショップ	自社マネジメント取組発表、プレゼン

## 4 講師

1日目（東部・西部共通）	東部会場（2日目以降）	西部会場（2日目以降）
早稲田大学商学学術院長・教授 恩蔵 直人 氏（おんぞう なおと）	㈱マップス代表取締役 清野 裕司 氏（せいの ゆうじ）	MORE経営コンサルティング㈱代表取締役 日野 眞明 氏（ひの まさあき）
・1959年神奈川県生 ・早稲田大学商学部卒業 ・1989年早稲田大学商学部専任講師を経て、1996年より現職。	・1947年東京都生 ・慶応義塾大学商学部卒業 ・1970年㈱キョーリン入社後、三井物産㈱、十和㈱を経て、1981年株式会社マップス創設。	・1959年愛知県生 ・中央大学経済学部卒業 ・㈱イトーヨーカ堂を経て、名古屋商科大学大学院修了（経営学修士、MBA）。 ・1992年MORE経営研究所設立。

# 株式会社鶴見製作所の流体研究棟設置に伴う協定書の調印について

平成22年7月21日  
産業振興総室  
企業立地推進室

株式会社鶴見製作所（本店：大阪市）が、新規市場への参入及び基盤技術の継承を目的として、米子工場内に流体研究棟の設置及び各種分析装置等の整備を行うこととなり、これを支援する鳥取県及び米子市との間で下記のとおり協定書の調印を行いました。

## 記

### 1 企業概要及び事業計画

- (1) 名称 株式会社鶴見製作所
- (2) 代表者 取締役社長 辻本 治
- (3) 住所 (本店) 大阪市鶴見区鶴見四丁目16-40  
(米子工場) 米子市夜見町2700番地
- (4) 資本金 5,188百万円
- (5) 従業員数 (企業全体) 866名  
(うち米子工場) 120名
- (6) 業務内容 水中ポンプ・真空ポンプを主力とした各種ポンプとその関連機器の製造

#### <設置計画>

- ・設置場所 米子市夜見町2700番地
- ・投資額 367,000千円
- ・新規雇用 8名
- ・事業内容 流体研究棟の設置及び各種分析装置等の整備

#### <主な研究内容>

- ・新規市場（淡水化装置、水力発電用ポンプ、原子力産業用ポンプ等）への参入を目的とした研究開発
  - ・ポンプ効率やメンテナンス性を向上させる研究
  - ・製造ノウハウの数値化、作業効率の向上のための研究
- ・操業開始 平成22年10月（予定）

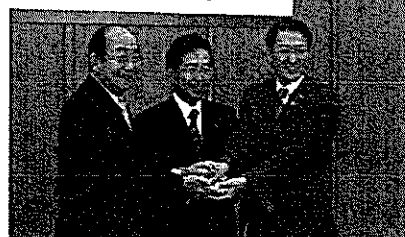
### 2 調印式の時期等

- (1) 日時 6月30日（水） 午前11時から正午
- (2) 場所 知事公邸 第一応接室
- (3) 出席者

(株)鶴見製作所 取締役社長  
常務取締役社長室長  
取締役米子工場長  
鳥取県 知事  
米子市 市長

つじもと 辻本 治  
しほがみ 英二  
のだ 勝  
のらい 平井 伸治  
のさか 野坂 康夫

作所の研究棟の設置に係る  
書 調 印 式



# 「とっとり農商工こらぼ研究コンソーシアム」設立について

平成22年7月21日  
産業振興総室  
新事業開拓室

地域資源活用・農商工連携の取組をさらに促進するため、「とっとり農商工こらぼ研究コンソーシアム」の設立総会を下記のとおり開催します。

## 記

### 1 概要

「とっとり農商工こらぼ研究コンソーシアム」設立総会の開催

- (1) 日時 8月18日(水) 午後1時30分～4時50分
- (2) 場所 とりぎん文化会館(鳥取市尚徳町101-5)
- (3) 内容 ①設立総会 ②第1回部会 ③一般公開セミナー(テーマ:「植物工場」)

### 2 コンソーシアムについて

#### (1) 概要

県の産業振興に寄与し農商工連携の可能性の高い分野について、県内事業者等も参加する産学官による研究会を立ち上げ、現状・課題の把握と解決策を探り、新たなビジネスモデルや支援策の提案を行うもの。

#### (2) 参集機関

県内中小企業者、JA/農林漁業者、高等教育機関、(地独)鳥取県産業技術センター、(財)鳥取県産業振興機構、商工団体、金融機関、市町村、鳥取県(商工労働部、農林水産部ほか)(順不同)

\*現在コンソーシアム会員募集中(会費無料)

#### (3) 構成・検討内容

とっとり農商工こらぼ研究コンソーシアム	
	○農林水産物加工促進部会 県内一次加工体制整備や加工原料安定供給システム構築に向けた調査・検討等を実施
	○IT・電子・機械化技術活用部会 「県内製造業者等の持つIT・電子・機械化技術」と「県内農林水産業の現場課題」を結びつけ、課題解決のための新技術・商品開発に向けた調査・検討を実施
	○植物工場等新生産方式導入検討部会 多様なシーズや新エネルギー等を活用したビジネスモデルの構築を検討
事務局	鳥取県商工労働部産業振興総室新事業開拓室

### 3 経過

コンソーシアム設立に向けて、発起人会を7月15日(木)に開催しました。

- (1) 日時 7月15日(木) 午後2時から3時まで
- (2) 場所 鳥取県庁 特別会議室(議会棟3階)
- (3) 構成 鳥取大学・鳥取環境大学・米子工業高等専門学校・(地独)鳥取県産業技術センター・(財)鳥取県産業振興機構・県(商工労働部・農林水産部)



## 中小企業の環境にやさしい取組推進事業の状況について

平成22年7月21日  
産業振興総室  
次世代環境産業室

地球温暖化対策の推進及び企業競争力の強化を促進することを目的として、県内の中小企業等が環境対策に取り組む上で必要となる設備の設置又は改善に対して助成する「鳥取県環境対策設備導入促進補助金」を募集した結果は、以下のとおりでした。

### 1 応募状況

募集期間：4月28日（水）から6月7日（月）まで

対象者：県内に所在する中小企業者、一般社団法人又は一般財団法人で産業の振興に寄与する試験研究を目的に設立された者

補助金額：以下の区分ごとに上限額500万円

事業区分	補助率	対象設備
新エネルギー事業	1/2	太陽光発電、太陽熱利用、風力発電、バイオマス発電等
省エネルギー事業 (競争力強化型)	1/2	省エネかつ生産性の向上により企業競争力を強化する設備（製造・加工設備等）
省エネルギー事業 (執務環境整備型)	1/3	省エネ設備（照明・空調設備）

### 2 採択状況（外部審査員を加えた審査会を経て採択）

事業区分	採択（申請）件数	交付決定額	予算額	予算残額
新エネルギー事業	4件（4件）	12,941,750	60,000,000	6,052,250
省エネルギー事業 (競争力強化型)	13件（19件）	41,006,000		
省エネルギー事業 (執務環境整備型)	15件（26件）	29,297,798	40,000,000	10,702,202
計	32件（49件）	83,245,548	100,000,000	16,754,452

#### <採択事例>

- ・新エネルギー事業：社屋に太陽光発電設備を設置し、省エネや環境配慮企業としてのPRに活用
- ・省エネルギー事業（競争力強化型）：より高機能な金属加工機を導入することで、省エネに加え、製品精度や生産速度を向上させ企業競争力の強化を図る

### 3 今後の方針

予算残額の範囲内で、新エネルギー事業に限定した二次募集を実施

- ・新エネルギー（再生可能エネルギー）設備の普及は、とっとり発グリーンニューディールの重要項目であるが、進捗はまだ不十分な状況にある。
- ・新エネルギー設備の導入事例をモデル的に増やし、その事例を広く周知することにより、中小企業が新エネルギー設備導入に取り組む足がかりとする。
- ・地球温暖化対策を推進するとともに、スマートグリッド施策への活用へとつなげていく。

#### <二次募集スケジュール（予定）>

- ・募集期間：8月上旬～9月上旬
- ・審査会：9月下旬

# とっとりバイオフィロンティアの指定管理者制度導入に向けた検討状況について

平成22年7月21日  
産業振興総室  
産学金官連携室

「とっとりバイオフィロンティア」については、去る6月議会で施設建設の予算措置を行い、現在、入札等の準備を進めているところであるが、当該施設の管理運営について、民間のノウハウを導入して事業者支援機能の充実を図るべく、平成23年4月からの指定管理者制度の導入を検討している。

## 1 指定管理者制度導入の検討状況

平成23年4月から指定管理者制度を導入し、財団法人鳥取県産業振興機構を指定管理候補者に指名指定することを検討。

(理由)

同機構はこれまで本県と連携してバイオ産業の振興に取り組んできた実績や、県内企業の起業化支援、産学官のマッチング、人材育成等に取り組んできたノウハウ、知識等を有しており、同機構が当該施設を継続的に管理運営することで、効果的・効率的に施設の設置目的が達成されると期待できる。

## 2 とっとりバイオフィロンティアの概要

(1) 名称 とっとりバイオフィロンティア

(2) 主な目的

鳥取大学の染色体工学技術等の世界最先端のシーズを活用した研究開発等の支援や、バイオ産業に係る専門的な技術者の育成を行う施設として整備し、本県における将来の基幹産業としてのバイオ産業の形成・発展に資する。

(3) 場 所 鳥取大学米子キャンパス内(米子市)

(4) 規 模 延べ床面積 1,260㎡ 鉄骨造、3階建

(5) 主な施設

- ・貸し研究室：入居企業の研究開発
- ・共通実験室：機器分析、遺伝子・細胞実験等
- ・研修室、会議室：動物実験技術者等の人材育成
- ・事務室：施設管理

## 3 指定管理者制度の導入に向けた主なスケジュール(予定)

平成22年10月 「設置及び管理に関する条例案」、「指定管理に係る委託料の債務負担行為」等の議決〔9月議会〕

12月 指定管理者審査委員会の開催(候補者選定)

平成23年 3月 指定管理者の指定、「平成23年度分管理委託料予算」の議決〔2月議会〕

4月 開所

## 鳥取県東京アンテナショップ「食のみやこ鳥取プラザ」の状況について

平成22年7月21日  
市場開拓課

鳥取県東京アンテナショップ「食のみやこ鳥取プラザ」の状況について、報告します。

### 1 アンテナショップ効果事例

#### <販路開拓・拡大>

アンテナショップ販売商品を首都圏の卸小売業や外食店等に紹介した結果、販路開拓に成果。

#### 【商談継続中の主なもの】

商談相手	商談状況
ネット通販と物産フェアを展開する情報関連会社	物産展で1社1商品（ブルーベリージャム）についてテスト出展を実施
料理専門学校及びレストランを展開する会社	パイヤーをアンテナショップに招き、1次产品及び加工品（10社13商品）について提案中

#### <商品開発（改良）>

アンテナショップで収集した情報を県内事業者に伝達し、新商品開発や商品改良に取り組み。

#### 【主なもの】

商品名	内容
紅茶	茶葉で販売していたものを手軽に楽しめるようドリップ包装化

### 2 取組状況

#### <県産品の情報発信>

・テレビ・雑誌等でのアンテナショップの紹介

WINING&DINING（6月号）、朝日タウンボイス（6/13号）、よみカル（2010.夏号）

・1階物産店舗では、県産すいかを販売中。2階飲食店舗では、すいかを使ったスペシャルメニュー（スイカのガスパッチョ（冷製スープ））を提供中

#### <催事による情報発信>

#### 【店頭催事】

・2009年度ミス・ワールド日本代表の佐々木えるざさん（鳥取県ふるさと大使）が来店し、催事出展中の着物のリメイクシャツのPRを実施（6/26）（朝日新聞朝刊「東京マリオン」（6/23）の催事案内で取り上げ）

・7月は二十世紀梨を使ったカレー、すいか、トマトケチャップ、各種てぬぐい製品の試食（宣伝）販売を実施（4事業者）

・米子南高等学校の生徒による県内高校生開発商品の販売実習（7/29～31）

#### 【店舗外催事】

・イオンモール川口キャラでの観光物産PRにアンテナショップが出展（6/27）

・グリーンフェスタ高輪2010にアンテナショップが出展（7/17）

・日本橋プラザ前にて開催される中国5県観光物産展にアンテナショップが出展（7/22～23）

#### <情報の伝達>

・アンテナショップスタッフが、アンテナショップで収集した消費者の反応等を基に、アンテナショップで販売している商品の改良アドバイス等を行う会と商談会を開催予定（7/26～27、倉吉未来中心）

#### <機能の向上>

・アンテナショップの運営に対する助言を行うアンテナショップ運営会議を開催（7/1）

#### （主な意見）

・物産店舗では、店舗として一定のレベルに達してきた。今後は店頭において消費者に商品の特性、こだわり、サービス等をより打ち出していくなど、もう一つ上のレベルに向かうことが必要。

・飲食店舗では、今のレストラン業界の動向を踏まえ、メニューの見直しを行ったり、リピーターの獲得に力を入れたりしてはどうか。

3 運営状況  
 <来客実績>

区分	物 販 店 舗				レ ス ト ラ ン		
	買物客数	営業日数	売上高 (千円)		来店客数	営業日数	売上高 (千円)
			うち催事売上高 (千円)				
H20. 8. 29～ H21. 3. 31	37,662名	211日	50,229	806	13,497名	171日	50,092
H21.4月	4,737名	30日	5,837	62	1,731名	25日	5,925
5月	6,309名	31日	7,590	87	1,822名	23日	6,410
6月	6,159名	30日	7,701	212	2,203名	26日	7,489
7月	6,206名	31日	7,700	181	2,092名	26日	7,345
8月	7,483名	31日	8,198	108	2,268名	27日	7,804
9月	7,002名	30日	8,743	209	1,828名	23日	6,191
10月	6,384名	31日	7,623	224	1,865名	26日	6,716
11月	6,523名	30日	9,241	237	1,578名	23日	5,411
12月	6,438名	30日	8,696	281	1,450名	21日	5,270
1月	5,361名	28日	6,597	122	1,713名	23日	5,526
2月	5,056名	28日	6,756	177	1,609名	22日	5,568
3月	6,229名	31日	8,222	236	1,813名	26日	6,072
H21. 4～H22. 3	73,887名	361日	92,904	2,136	21,972名	291日	75,727
H22.4月	6,155名	30日	8,357	313	1,671名	25日	5,814
5月	7,136名	31日	8,502	147	1,522名	23日	4,779
H22. 4～H22. 5	13,291名	61日	16,859	460	3,193名	48日	10,593
合 計	124,840名	633日	159,992	3,402	38,662名	510日	136,412

<物販店舗の人気商品 (5月) >

順位	品 名	販売価格
1位	干しホタルイカ	525円
2位	砂丘らっきょう漬 (甘酢) 大	1,050円
3位	大山ソフトクリーム	380円
4位	あご入り鯉ふりだし	(3袋入) 380円 (30袋入) 1,000円 (50袋入) 1,600円
5位	かに寿司	980円



佐々木えるぎさんによる着物リメイクシャツPR



イオンモール川口キャラでの観光物産PRの様子